

平成24年行政事業レビューシート(復興庁、農林水産省)

事業名	畜産農家段階放射性物質モニタリング体制構築事業		担当部局庁	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 農林水産省生産局畜産部畜産企画課			作成責任者	復興庁参事官 尾関 良夫 畜産企画課長 渡邊 洋一	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度		担当課室						
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名	②国産農畜産物を軸とした食と農の結び付きの強化					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	福島復興再生基本方針					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京電力福島第1原発事故により避難を余儀なくされていた地域等において、畜産農家の円滑な経営再開を推進し、生産される畜産物に係る放射性物質の汚染に対する消費者の信頼の確保を図るため、地域全体で、自主的な畜産物の放射性セシウム汚染の原因となる飼料・水等の生産資材や、たい肥に係るモニタリング体制の構築を図り、福島県の畜産経営の復興再生を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	畜産物に係る放射性セシウムについての危害管理点を事前にモニタリングし消費者の一層の信頼の確保を図るため、信頼醸成のための危害管理ガイドラインの検討、地域全体で飼料・水等のモニタリング体制の構築を図る産地における研修会の開催、技術指導、モニタリング・記録に必要な機器等の整備等を支援。(補助率:定額、1/2)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	96(復興庁計上)	
		補正予算	-	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	-	96	
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(27年度)	
	震災発生後の23年度と比較して、地域において生産される畜産物の生産量が10%増加(経営再開農家)		成果実績	%	-	-	-	110	
			達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	事業実施地区数		活動実績(当初見込み)	地区	(-)	(-)	(-)	(5)	
単位当たりコスト	19,115(千円/地区)		算出根拠	平成25年度要求額 ÷ 事業実施見込地区数 95,574千円 ÷ 5地区					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	(目)国産農畜産物・食農連携強化対策事業費補助金								
	畜産農家段階放射性物質モニタリング体制構築事業	-	96						
	計	-	96						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果		<p>【過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえ、過去の事業仕分け等において、廃止などと結論づけられた事業と類似するものではなく、また、横断的な見直し基準に則した事業案となっている。 <p>【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の可能性について、真剣な検討が行われているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京電力福島第1原発事故により大きな影響を受けている地域における畜産物の生産量の向上を目標としている。 また、畜産物に対する一層の信頼の確保の図るため、自ら生産段階の管理点を定時的にモニタリングすることは、リスクマネジメントとして効率的な手段であると考えている。 <p>【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者の信頼を確保しつつ畜産物の安定供給を図ること、東日本大震災・原発事故の被災地域の復興は国民の要望に広く応えるものである。 <p>【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福島県等被災地域の畜産経営の復興再生を図り、産地の競争力を維持・強化することは、復興庁及び当省のミッションである。 	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>指示されている「過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等」、「事業の成果目標及び活動指標の設定等」、「広い国民からのニーズへの対応」、「当省のミッションか否か」等に係る点検を行ったが、新規に要求する事業としては問題ない。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

